

【第4回市民公開講演会と親睦交流会】

浅春の晴れ渡った青空の下、3月21日（土曜日）午後1時、東京都千代田区神田駿河台の「御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター」1階のRoom Cにて第4回市民公開講演会と親睦交流会が行われました。司会のMSIF（多発性硬化症国際連合、本部は英国ロンドン）メッセージ紹介後、NPO法人日本多発性硬化症協会、理事長の井形昭弘名古屋学芸大学学長、理事兼医学顧問団代表の糸山泰人国際医療福祉大学副学長、全国多発性硬化症友の会嶺岸禮三会長から挨拶がありました。その後、平成26年度医学研究助成審査委員長、順天堂大学大学院認知症診断・予防・治療学 客員教授田平武先生より審査に関する説明・挨拶があり、研究助成表彰式に移りました。受賞された国立精神・神経医療研究センター神経研究所免疫研究部の門脇 淳先生、山口大学大学院神経内科の竹下幸男先生に井形理事長より賞状が手渡されました。引き続き、東北大学大学院医学系研究科多発性硬化症治療学寄附講座教授藤原一男先生の『多発性硬化症と視神経脊髄炎：基礎知識と最新情報』の基調講演。そして、門脇先生の『MSを抑える腸のリンパ球』、竹下先生の『多発性硬化症関連ケモカインがリンパ球の血管外浸潤に及ぼす影響について～次世代流量負荷型 in vitro Blood brain barrier モデルの開発とその応用』の受賞者講演が行われました。その後、「ワールドサイクリングツアー～MSへの挑戦」（自転車世界一周プロジェクト）のフランスNPO法人「オデッセイ・デ・エスポワール」の6名による特別講演と続きました。次に、患者の皆様、ご家族の皆様、一般の皆様がご参加の先生を囲み相談会となりました。NPO法人日本多発性硬化症協会主催の第4回市民公開講演会と親睦交流会は、多くの皆様のご協力、ご支援を頂き盛況に終了することができました。後援の全国多発性硬化症友の会と認定NPO法人MSキャビンの皆様に感謝申し上げます。また、ご寄附、並びにボールペン、冊子、ノートブックを頂きました各企業と各製薬会社の皆様方に深く御礼を申し上げます。ご講演を頂きました藤原先生、門脇先生、竹下先生、フランスNPO法人6名の皆様、ご挨拶を頂きました井形理事長、糸山先生、嶺岸会長、田平先生、山村先生そして講演会にご参加くださいました患者、ご家族、一般の皆様、ボランティアの皆様、ソラシティカンファレンスセンターの皆様に感謝申し上げます。大変ありがとうございました。今回のアンケートには、「ボランティアの方が沢山おられ迷っているとすぐ声を掛けてくださり助かりました。」「興味深い内容でした。良い方向に向かっている印象でしたので近い将来に期待します。」「ジェラルドさんを始めとする皆様の活動に勇気付けられました。泣いた！感動した！」。この講演会の報告をMSIFに発信し、世界の皆様に共有していただきます。来年は『第5回市民公開講演会と親睦交流会』です。皆様のご参加を心よりお待ちしております。フランスNPO法人6名の皆様が繰り返し叫ばれていました、【メルシボク！】と。

井形理事長開会の辞

藤原先生の基調講演

自転車世界一周ツアーチーム



特定非営利活動法人日本多発性硬化症協会 事務局長 中島荘次

〒111-0042 東京都台東区寿 4-1-2 電話：03-3847-3561 <http://www.imss-s.jp/>